

すずらん



新しい時代に

理事長 黒山靖弘

時代が令和に替わり、もうすぐ一年になります。岡山県健康の森学園はこの四月に、開園から三十年目を迎えます。

学園開園に合わせて設立した当法人では、自立と社会参加をめざして学園内での生活訓練や作業訓練等を経て、これまでに約一六〇名の学園生(利用者)の方が、様々な形で自立し、社会に出ています。その人達が学園で学んだことをもとに就労先の事業所等で活躍したり、グループホーム等を利用して地域住民の一人として生活したりすることで、地域の方々の理解も進んできました。

近年では障害者差別解消法等により制度も整い、人々の理解も進んできましたが、社会の変化と地域で生活する人の増加に伴い、学園を出た後の長い人生でより良い地域生活を送るために必要となることも増えてきていると感じます。特に、若い学園生にとっては、学園を出た後の生活の中で自分の人生を自ら充実させていくことが必要であり、その基盤となる知識や技能に加えて、意欲や考える力などを育てていくことが大切になります。しかし、その知識等を学園在園中に身に付けるには時間的な制約があるため、学園を出た後も主体的に学び続けようとする姿勢を育てる必要性が増しています。

当法人では、自立と社会参加をめざす学園生のニーズや地域の方々へのニーズに応えて提供するサービスの幅を広げ、その充実にも努めてきました。一定のサービスの質は担保できていると考えますが、今後、学園生等の人生のさらなる充実につながる質の高いサービスの提供が求められます。

本学園には支援学校があり、学園開園時から学校と施設の一体化をめざして活動を進めてきています。新しい時代には、人を育てることを専門とする学校のもつノウハウを学園生の訓練活動や職員の専門性向上等にさらに活用するなど、これまで以上に支援学校との連携協力を図ることにより、質の高いサービスの提供に努めていきたいと考えています。

収穫祭と作品展 10/26

「第29回 収穫祭と作品展」を開催しました。玄関前広場の会場で開会行事が行われ黒山学園長より「沢山の方にご来園いただき有難うございます。天気も良く最高の収穫祭日となりました。学園生の皆さんはしっかりとおもてなしをしましょう」と挨拶があり、学園生代表として施設利用者の堀江さんが「美味しい物を食べたり、アトラクションに参加して楽しい一日をお過ごしください」と歓迎の言葉を述べました。農産物や「焼きそば」「おでん」「森のおこわ」等を販売し、来場された保護者、地域の皆さんと交流しました。



歯磨き指導 10/30

医療生協阿新歯科診療所のスタッフにお越しいただき、歯科検診と歯磨き指導が行われました。利用者の皆さんの検診後に、染め出しチェックをして赤くなった歯を確認。それぞれに合った磨き方を教えていただきました。毎日のことなので、丁寧にできるよう利用者にアドバイスをして頂きました。



宿泊学習 11/7~8



今年の宿泊学習は四国方面へ。初日は徳島市内まで行き、昼食を食べ大塚美術館へ行き、世界的に有名な絵画の数々を鑑賞しました。

その後、観光船で「鳴門の渦潮」を見学。宿泊は香川県のホテルで豪華な夕食を頂きました。2日目はレオマワールドへ行き、アトラクションを楽しんだり買い物をしたり、美味しい食事をしたりと楽しく有意義な時間を過ごしました。

障害者週間 12/5

障害者週間に合わせ、新見市内の社会福祉事業所等による啓発活動に参加しました。新見プラザ店入り口付近の担当となり、パンフレットやティッシュを来店されたお客さんに配布することを通して障害者への理解をアピールしました。正田のサンパーク新見店では「福祉にこここ市」も開催され、市内の福祉事業所が生



産する農産物や工芸品の販売をしました。

マラソン大会 12/6

第29回となる健康の森学園マラソン大会を開催しました。この時期としては、気温も下がらずランナーには好条件の日となりました。開会式で学園長より「怪我をしないように良い記録が出るよう頑張ってください。園生の皆さんはご来園いただいた方との交流もしてください。」と挨拶がありました。コースごとにエントリしている選手が次々とスタートラインに立ち、駆け抜けていきました。施設の利用者の皆さんは多くの練習はできませんでしたが、自己記録更新を目指し、張り切って走ることができました。



お餅づくり

12/23

今年も沢山のお餅のご注文をいただき有難うございました。12月に入ってからは職員他にも、「健康応援団」の方にも参加していただき餅作りの作業に取り組みました。毎年の作業になりますが、利用者の皆さんは職員の指示のもとテキパキと作業工程をこなしながら白餅・豆餅をつきました。地域の方からは「今年のお餅も美味しかったよ」とお言葉をいただきました。みんなで喜びを分かち合いました。



クリスマス会

12/25



施設の行事委員会と友達の会の主催で恒例のクリスマス会を行いました。約50名の利用者の方が歌ったり、踊ったりと楽しく自己表現をすることができました。クリスマスケーキを食べながら歓談して過ごし、クリスマスサンタに扮した施設長からプレゼントがひとり一人に渡され、利用者も職員も笑顔いっぱいとなりました。

成人式

1/11

今年は7名の利用者が成人の間入りをしました。保護者の方々ははじめ、学園長、校長、保護者会長のご臨席を賜り、約50名の利用者の皆さんとともに新しい門出を祝いました。



学習発表会

2/8

今年のテーマは「スマイリング施設」です。班ごとに、日ごろの生活や日中活動の様子を、スライドや演技、歌を通して振り返りながら発表しました。農産班（就労

移行支援事業)の利用者は、「信頼される社会人になりたい。」「親孝行するぞ。」「就職目指して実習頑張ってます。」「今年は自分の殻をやぶっていききたい。」と熱いメッセージを届けてくれました。



施設サービスアンケート調査結果

対象者（施設利用者45名 保護者20名 計65名）

令和元年度実施	満足	まあまあ満足	どちらでもない	いづらか満足	不満	無記入	合計
建具・設備に支障はありませんか	26	14	13	4	7	1	65
職員の態度はどうでしたか	35	17	5	4	3	1	65
職員の言葉づかいはどうでしたか	33	15	9	3	4	1	65
職員の支援技術は適切でしたか	31	18	13	0	1	2	65
職員の対応が早いと思われましたか	29	21	10	0	4	1	65
食事の内容はいかがでしたか	33	15	10	2	2	3	65
専門的な助言・援助が得られましたか	26	15	19	3	1	1	65
気兼ねなく相談ができましたか	30	17	10	5	2	1	65
期待通りのサービスとなっていましたか	29	16	14	2	3	1	65
約束した支援が実行されていましたか	28	19	14	2	1	1	65
非常時の対応などに不安はありませんか	28	19	12	2	3	1	65
必要な情報について伝達は適切でしたか	30	15	14	4	1	1	65
利用を継続したいと思われますか	利用したい	47	わからない	13	無記入	5	65

日中作業の1コマ

『農産・園芸班』



『畜産・果樹班』



『林産・家事生活班』



= 就労定着支援事業 =



今年度より新しい事業として「就労定着支援事業」を開始しました。本事業では、一般企業等へ就労した障害者との月一回以上の面談を通じて、日常生活面および社会生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれにとまなう課題解決に向けて必要となる支援を行います。

10月より新見市内の企業に就職した6名の方に、サービスを利用していただいています。利用者の皆さんが職場で自分らしく、そして気持ちよく働き続けられるように、サービスの充実を図っていきます。